

南魚沼水稻生育速報 No.4

令和8年6月30日
南魚沼農業普及指導センター

- ・ 出穂期 1 か月前には、中干し終了
- ・ 畦畔の草刈り徹底で、斑点米カメムシ類防除！

1 生育状況（6月30日現在）

管内全体 草丈：やや長い、茎数：やや少、葉数：並、葉色：並

田植日	田植日の平均	草丈		茎数		葉数		葉色	
		(cm)	(%)	(本/m ²)	(%)	(葉)	(差)	(SPAD)	(差)
5月10日頃	5月8日	58	(121)	606	(121)	10.4	(0.9)	37.2	(-1.8)
5月15日頃	5月15日	51	(106)	461	(92)	10.2	(0.7)	39.4	(0.4)
5月20日頃	5月19日	49	(102)	450	(90)	9.7	(0.2)	40.4	(1.4)
5月25日頃	5月24日	45	(94)	362	(72)	9.0	(-0.5)	42.6	(3.6)
全体	5月16日	51	(106)	468	(94)	9.8	(0.3)	39.9	(0.9)
(参考)指標値		48	—	500	—	9.5	—	39.0	—
移植日		草丈		茎数		葉数		葉色	
		(cm)	(%)	(本/m ²)	(%)	(葉)	(差)	(SPAD)	(差)
新之助	5/21	40	(100)	585	(103)	9.6	(0.0)	37.0	(-1.0)
(参考)指標値		40	—	570	—	9.6	—	38.0	—

※ () 内数値は指標値比・差
(JA・普及センター生育調査地点の平均、全体の調査地点は18地点)

2 今後の管理

- (1) 出穂期の1か月前には、中干しを終了しましょう。
- (2) 5月30日頃の田植えほ場も、田植え後30日経過しました。直ちに中干しを開始しましょう。
- (3) 中干し後は「水尻を止めた状態で、かん水と自然減水を繰り返す**(飽水管理)**」を出穂期後25日まで繰り返しましょう。
用水は限られた資源です。かけ流しはやめて、適正な水管理を行いましょう。
- (4) 近年、斑点米カメムシ類の被害が増加しています。今年も、6月下旬の病害虫抽出調査で、畦畔の草刈りをしていないほ場において多数のカメムシが確認されました。畦畔の草刈りの徹底をお願いします。
- (5) いもち病が発生しやすい状況となっています。新之助やもち米品種では、春の箱施用剤の効果が7月中旬頃にきれ始めます。追加の予防的本田防除を実施してください。

農作業中の事故防止や熱中症対策として、こまめな休憩と水分補給を行いましょう。

問い合わせ先 作物担当

電話 772-3337/FAX 772-2612